



ムトス飯田事業の概要

—多様な主体の協働によるまちづくり—

飯田の語源となったとも言われる「結い」とは、「多くの人の協力と役割分担により一つの事を成し遂げる仕組み」のことであり、今日の「協働」そのものです。また、その前提となる一人ひとりの「自立」が欠かせません。飯田のまちづくりの底流には、この長い歴史が息づいています。

■ムトスとは？

「ムトス」とは、広辞苑などにも載っている言葉「むとす」を引用したもので、「…しようとする」という意味が込められており、行動への意志や意欲を表す言葉です。飯田市では昭和57年3月に市が作成した「10万都市構想」で理想とする都市像の実現に向けての行動理念・合言葉として「ムトス」を使用しました。平成19年4月1日施行の飯田市自治基本条例にも、まちづくりに進んで参加するムトスの精神について謳われており、「ムトス」を地域づくりの合言葉にし、私たち一人ひとりの心の中にある、「愛する地域を想い、自分ができることからやってみよう」とする自発的な意志や意欲、具体的な行動による地域づくりをめざしています。

■ムトス飯田表彰事業

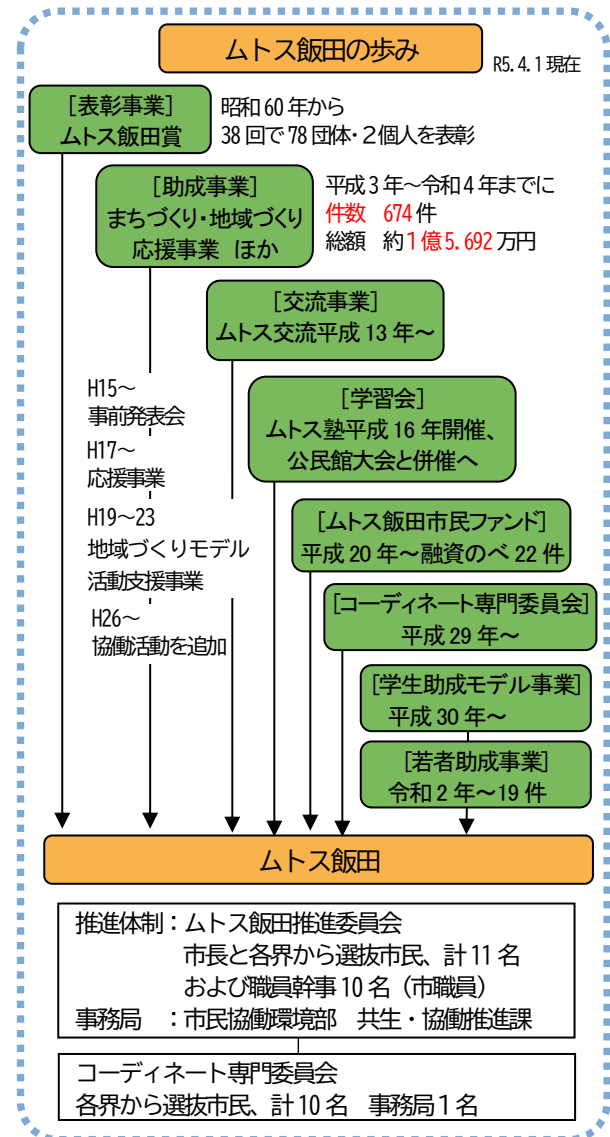
「ムトス飯田の精神を広めるために役立ててください」という一市民の寄付が契機となり、昭和60年度に創設されました。以来、「ムトス」が際立ち、飯田の将来に向けて示唆的で主張ある活動をしている団体・個人を表彰してきました。この賞には、受賞者のムトスの活動をたたえ励ます気持ちと、受賞者の生き生きとした活動の姿が、私たち一人ひとりの秘めているムトス呼び起こし、皆の行動として広がっていくことへの期待が込められています。

■ムトス飯田助成事業

飯田市は平成3年度から、ふるさと創生1億円を基金にして、多様な主体の協働によるまちづくりを推進するために、ムトス飯田の取り組みに対して交付金を拠出しています。ムトス飯田推進委員会は、団体や個人からの助成金申請を審査および支援して、独創的で波及効果のあるまちづくり活動に助成しています。

■ムトス飯田若者助成事業

若者の地域づくり・まちづくり活動を支援し、「ムトスの精神」を育成、ふるさと意識を醸成します。



■一般社団法人 ムトス飯田市民ファンド

協働のまちづくりの促進を目的に、当ファンドは、市内の特定非営利活動法人を対象に300万円まで「実質無利子の融資」をしています。平成25年に全国NPOバンク連絡会に加入し、情報共有と連携をしています。

■コーディネート専門委員会

積極的な市民活動のコーディネートを行うことにより、多様な主体の協働によるまちづくりを推進しています。

■ムトス飯田交流会・学習会

様々な市民団体が、横のつながりや「結い」を築くことを目的に、歴代受賞者・助成団体・NPO等に参加を呼びかけて、実践事例や課題などを語り合う交流会及び学習会を開催しています。